

# '22春闘ニュース



発行元：神奈川県労働組合総連合 - 横浜市中区桜木町3-9横浜平和と労働会館 6F TEL045-212-5855 / FAX045-212-5745

## 神奈川労連 22春闘サイト開設しました！

最新の春闘情報を順次掲載いたします。

こちらをクリック→

2022  
春闘

誰もが  
人間らしく暮らせる  
新しい社会へ

大企業や  
富裕層の  
利益優先NO



## 鶴見区労連「変えるリーフ」配布行動

2月5日に鶴見区労連が「変えるリーフ」の配布行動をおこないました。

鶴見区労連の加盟組織以外からも参加があり16名が参加。各人が250枚を受け持ち地域の各戸に配布しました。2ラウンド配布するメンバーもいるなか、全体で4750枚を配布しました。

鶴見区労連では地域の働く仲間にも労働組合の存在を知らせようと、行動を準備してきました。そうしたもとの間新たに加盟した建交労の組合員も参加し、運動の結集を強めることができました。

## 2.10憲法宣伝

### 木曜日の憲法審査会を許すな！

昨年の総選挙によって過半数超の議席を獲得した自民党は、「憲法改正推進本部」を「憲法改正実現本部」に改組し、憲法第9条への自衛隊明記や緊急事態条項の創設など4項目の改憲実現に向けた動きを強めています。また、日本維新の会や国民民主党も、憲法審査会での議論促進を働きかけています。2月10日の衆議院・憲法審査会では、「国民の改憲議論は高まっている。毎週定例日の審査会の開催が必要」と述べ、公明党も「憲法論議を積み重ねれば合意形成はどんどん進む」と改憲に同調しています。

新型コロナのオミクロン株感染が急速に拡大するなか、1月17日に通常国会が開かれました。岸田内閣はこの危機のなかでも、コロナ対策予算は予備費の5超円にとどめ、病床の削減、高齢者の医療費負担を2倍化し、中小業者の事業支援や生活困窮者への給付は計上しないなど、国民のいのちとくらしを守ろうとしていません。

その一方で、敵基地攻撃能力を持つ武器保有などのために、軍事費は過去最高額の5兆4005億円、補正予算とあわせて6兆円を超える予算を計上してい

ます。憲法を大きく逸脱する大軍拡は許されません。

世論調査では、重視する政策は経済・財政政策や新型コロナ対策、社会保障制度などであり、改憲を求める声は少数にとどまっています。国民の多数は改憲を求めてはいません。いま、国会に求められているのは、改憲ではなく、憲法に基づく政治の実施であり、各条文に基づいて行政府の諸施策をチェックすることです。通常国会では、憲法審査会を開催するのではなく、労働者や国民の声をよく聴き、コロナ禍から国民の命と暮らし、営業を守るために、憲法をいかした十分な政策と財政措置にむけて与野党で真摯に取り組むことを強く求めます。

憲法共同センターは木曜日の2月10日「木曜日デモ」として桜木町駅前ですタンドイング・デモを行いました。降雪予報の中でしたが短時間の行動に6団体・17人にプラスターなどを掲げて改憲阻止を訴えました。

**「木曜日デモ」は、2月24日の学習会、3月24日にデモ行進を計画しています。**